

2017年2月21日（火）

関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会
会長 校條 亮治

「OTOTEN AUDIO・VISUAL FESTIVAL 2017」開催挨拶

余寒の候、貴社ますます御隆昌にてお慶び申し上げます。季節の移り変わりも早いもので、新年を迎えたと思ったら早2月も終わろうとしています。

本日は、昨年開催を発表しました「OTOTEN2017」の内容が決まりましたのでご案内させていただきます。これも皆様の御支援があつての賜物であり、心から御礼を申し上げます。

さて、新「OTOTEN2017」は、昨年の開催発表会でも申し上げましたように抜本見直しとして“4つの見直し”を行いました。

第1点は、お客様ターゲットの見直しです。これまでのオーディオファンに加え、20歳代～30歳代の男女に注力する点です。これは現在の国内オーディオ市場が2極分化で中抜け状態になっておりこれへの対応です。今回は“音楽リスナー”にターゲットを当てています。**第2点**は、時期の変更です。これまでの秋中心の展示会をあえて春に持ってきました。2008年までは春市場の方が大きかったのですが、注力しなくなった結果市場ボリュームも減少してしまいました。**第3点**は、場所の変更です。正直言って使いやすい会場ではありませんし、秋葉原より若干乗降客数は落ちますが、地の利を考慮し攻めの姿勢で「駅近」の「東京国際フォーラム」に決定しました。**第4点**は、徹底した内容変更です。ターゲット変更をした以上は当たり前のことですが、ストリーミング及びハイレゾ配信等コンテンツ配信業界とのコラボレーションです。このような組み合わせの展示会はこれまで日本にはありませんでした。初めての試みですが大いに期待したいと考えます。

そして「OTOTEN 大使」と言われるアーティストともコラボレーションを組みました。勿論オーディオファン向け最新音源試聴会や最新技術情報、シアター提案、ハイレゾカーオーディオが実車で勢揃いします。また、“日本発・世界初”の「ハイレゾ・オーディオ（サウンド）」の提案は3年目に入りました。今年の米国のCESでも「ハイレゾパビリオン」が設置されエンジンがかかってきました。本展示会でも主要テーマとして扱っていきます。このようにこれまでにない魅力的な祭典にする予定です。

ご出展の皆様には大きなご支援を頂くこととなりますが、「感動創造」こそが「新市場創造」と考え、全メンバーで挑戦するつもりです。マスコミ及びご関係の皆様には是非とも絶大なるご支援を賜り、オーディオの歴史に新たなページが開かれるようお願いを申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ご清聴をありがとうございました。